

2017年6月度 活動報告

2017年6月30日

今回O-NEXTの活動としまして某メーカー様の返品商品処理工場見学を行いました。私たちの業界では「返品」がとても多く、現在は季節品や廃番品など様々な理由で商品が返品されています。

O-NEXTは「業界の返品率削減」を大きな課題の一つに挙げていますが、まずは返品商品処理の実態を把握し、メーカー様と地域卸が情報を共有するために今回の活動を行いました。

以下で今回の活動報告を記載します。



広報部

- 日時: 2017年 6月
- 場所: ・某メーカー様の返品工場
- 目的:
 - ・返品商品の処理実態を把握すること。
 - ・メーカー様と地域卸が互いの現状を共有し、返品率の削減に向け意見交換を行うこと。
- 活動内容:
 - ・実際に返品商品が処理される工程を見学。全国から集まる返品商品が莫大な量であること、その返品商品を処理することで大きなコストがかかっていることを実感。
 - ⇒現状は・・・
 - ①工場様では年間返品商品処理量は約4, 200トンで、1日あたりおよそ60パレット分の処理を行っている。(ケース換算では約1, 000ケース分の処理量。)
 - ②処理される返品商品は、処理の工程で約20種類にも分類され処理される。(分類されたあとは、各分類ごとに焼却、リサイクルなど様々な処理が行われる。)
 - ・見学後の会議ではメーカー様とO-NEXTメンバーで意見交換を実施。例として、商品切り替え時の情報共有を素早く、「製」「販」「配」が計画的な切り替えをさらに徹底することや、返品率削減に対しての制度を共に構築していくことなどが挙げられた。
- 今後の課題:
 - ・業界全体で情報を共有し、返品削減に対しての意識をさらに高めていくこと。
 - ・メーカー様と地域卸が返品削減にむけて議論を継続し、互いによりよい活動ができるような返品制度を構築すること。

